

# JCAシンポジウム

# 新しい農村のかたち

## —持続的発展プロセスからの展望—

2023年

7月23日(日)

13:30~16:30

農村への関心と移住が強まる田園回帰の潮流のなかで、多様な人々の新しいライフスタイルを実現することで創造される持続的な農村。このシンポジウムでは「新しい農村政策」の現場のプロセスから、これからの農村のかたちを展望します。

開催方法 オンライン (zoom) による開催

申し込み方法 右記QRコードまたはURLからお申し込みください

申し込み締め切り 2023年7月20日(木)まで

参加費 無料



<https://ws.formzu.net/fgen/S832678634/>

### ●プログラム●

#### 《第1部/講演》13:30~15:20

##### 【講演①】農村問題の展開過程と現段階

明治大学 農学部 教授  
小田切 徳美

##### 【講演②】農村発イノベーションの意味

法政大学 現代福祉学部 教授  
関司 直也

～休憩～

##### 【講演③】農村と新しいコミュニティビジネス

鳥取大学 地域学部 教授  
筒井 一伸

##### 【講演④】農的関係人口の意義

—農村住民の「農活」との関わりから—

信州大学 農学部 助教  
小林 みずき

～休憩～

#### 《第2部/パネルディスカッション》15:30~16:30

##### 「しごと」「暮らし」「活力」から展望する新しい農村のかたち

農業従事者だけでなく多様な者が農村に集い、地域に根差して、地域資源を最大限に活用したさまざまな事業を営むことを目指す「新しい農村政策」。パネルディスカッションでは、「しごと」「暮らし」「活力」を切り口に改めてその意義を確認します。

##### ●ファシリテーター

明治大学 農学部 教授  
小田切 徳美



##### ●パネラー



法政大学  
現代福祉学部 教授  
関司 直也



鳥取大学  
地域学部 教授  
筒井 一伸



信州大学  
農学部 助教  
小林 みずき

主催

一般社団法人 日本協同組合連携機構 (JCA)

新宿区市谷船河原町11 飯田橋レインボービル5階  
《電話》03-6280-7252 《Mail》sinpo@japan.coop  
(担当者:基礎研究部 小川・岩崎)

本機構では、2013(平成25)年度から2022(令和4)年度の9年間にわたり、明治大学小田切徳美教授を主査とした研究会(第1期「新しい農山村の形研究会」、第2期「都市・農村共生社会創造研究会」、第3期「農山村の持続的発展研究会」)を実施してまいりました。このシンポジウムは、これまでの研究の成果の総括として開催するものです。